

資料4

南アルプス市国民健康保険 第3期特定健康診査等実施計画・第2期データヘルス計画 (概要版)



●計画の趣旨

平成25年度には「第2期特定健康診査等実施計画」、平成27年度には「第1期データヘルス計画」を策定し内臓脂肪症候群に着目した生活習慣病予防を目的とした、特定健診及び特定保健指導の実施や、健診情報や医療情報を分析し課題に沿った効果的な保健事業を実施してきました。この両計画が平成29年度には計画期間を終了するため、両計画の見直し及び健診及び医療のデータ分析を行い、被保険者の健康の保持増進及び医療費適正化を推進していくために両計画を策定します。

●計画の位置づけ

「第3期特定健康診査等実施計画」は、高齢者医療の確保に関する法律に基づき策定されます。
「第2期データヘルス計画」は、国民健康保険法第82条第5項に基づく保健事業の実施等に関する指針に基づき策定されます。

●計画期間

平成30年度から平成35年度の6年間の計画とします。



現状分析と課題及び取組の方向性

●第3期特定健康診査等実施計画 第2期データヘルス計画

・平成28年度の特定健康診査受診率は54.2%（目標57.2%）特定保健指導実施率60.6%（目標70.4%）であり、目標達成できませんでしたので、平成30年度からの計画では、受診勧奨の検討を行い、受診率、実施率が目標達成できるような対応を考えます。【図表5】

・糖尿病重症化予防では、本市の傾向として健診を受け検査結果が異常数値のまま経年放置の方が目立ちます。今後の対策として、健診結果HbA1C6.5%以上で3年間未受診者に対する個別支援の強化、HbA1C6.0~6.4%の対象者に対する保健指導の見直し、HbA1C6.9%以上で医療機関受診しているがコントロール不良の者に対する医療機関の連携強化を図っていきます。

●医療費分析

・本市の人口について、平成22年度と平成27年度の国勢調査で比較すると、人口は2.5%の減少、世帯数は2.6%増加しています。国保被保険者は、市民全体の24.6%でした。人口及び被保険者数は年々減少しています。【図表1】
・平成28年度の生活習慣病の医療費は13億5千万円で、総医療費の24.8%を占めます。また、健診受診の有無と生活習慣病併存別医療費の比較で、健診未受診者は2倍の医療費がかかっています。【図表2.4】
・健診等で生活習慣に起因する数値が異常値であっても、コントロール不良のまま経過し重症化が進み、心筋梗塞、腎不全等を発症し多額な医療費が発生しています。
・入院外来疾病の上位は、慢性腎不全、糖尿病、高血圧が上位を占めています。慢性腎不全の原因の6割は糖尿病が占めます。本市の透析治療者は100人を超えており、年間500万/1人の医療費がかかります。

●特定健診・特定保健指導

・受診率については、稼働年齢（40~59歳）の男性受診率が30%台です。稼働年齢男性の受診率40%を目指した受診勧奨を強化し、受診率の目標達成を目指します。【図表5】
・特定保健指導については、健診結果と対象者自身の生活を関連付けられる保健指導をし、保健指導実施率を上げ目標達成を目指します。

●その他の課題

・ジェネリック普及率、平成28年度（H29.3月）は70.1%でした。国で示す80%の普及率を目指し、医療費通知発送の際の普及啓発チラシと合わせ、医師会、薬剤師会の理解と協力を得て国で示す80%を目指します。【図表3】
・介護度が高くなるに連れ、糖尿病、高血圧、脂質異常症など有病者が多くなっています。介護度を上げない重症化を防ぐ対策を介護福祉課と情報共有し推進していきます。

■実施方法

- ・特定健診は市内42会場で実施される巡回健診と人間ドックおよび個別医療機関健診で実施します。
 - ・特定保健指導は、内臓脂肪症候群のリスクがある者が対象となり、42会場の巡回健診で対象になった者は健診結果説明会と同時に実施、個別医療機関健診等についてはそれぞれが指定する医療機関が実施します。
- (健康づくり日程表および、各種健診ガイド参照)

「第2期データヘルス計画」 (平成30年度~平成35年度まで)

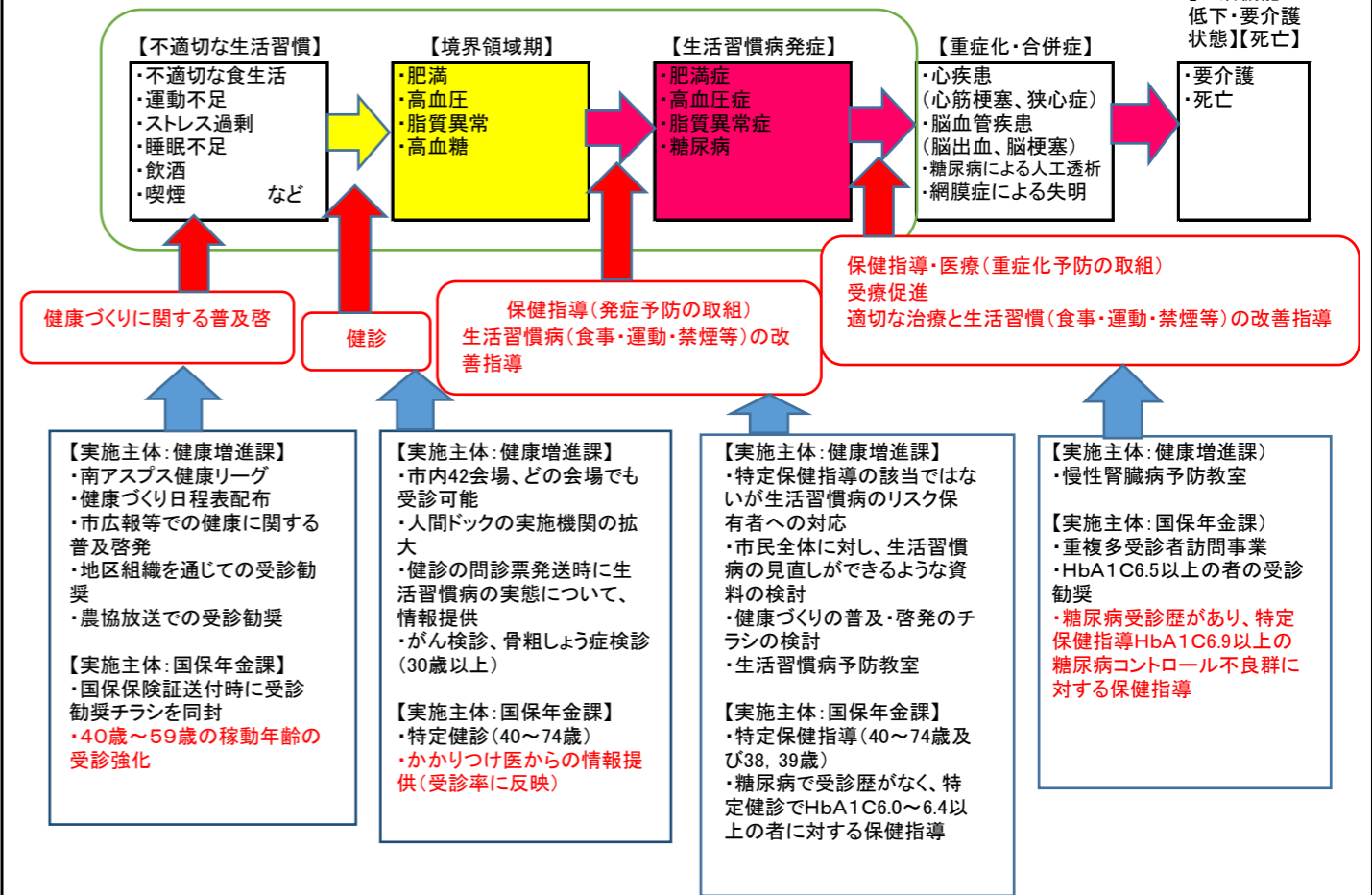
■目的

被保険者が、健康で豊かな人生を実現するために、自身の健康状況を把握し、疾病の予防重症化予防の行動がとれる

■重点目標

- (1) 40歳~59歳までの男性受診者を40%にし、全体の受診率を6年間で60.6%にする
 - ①40歳~59歳の男性の受診勧奨
 - ②かかりつけ医からの情報提供（受診率に反映する）
- (2) 血糖コントロール不良の方への対応を強化し、重症化を予防する
 - ①HbA1c6.5%以上の方に対し、医療機関未受診者の受診勧奨
 - ②糖尿病受診はあるがコントロール不良の方に対し数値の改善対応

■生活習慣病の段階と必要な取組（事業）



「第3期特定健康診査等実施計画」 (平成30年度~平成35年まで)

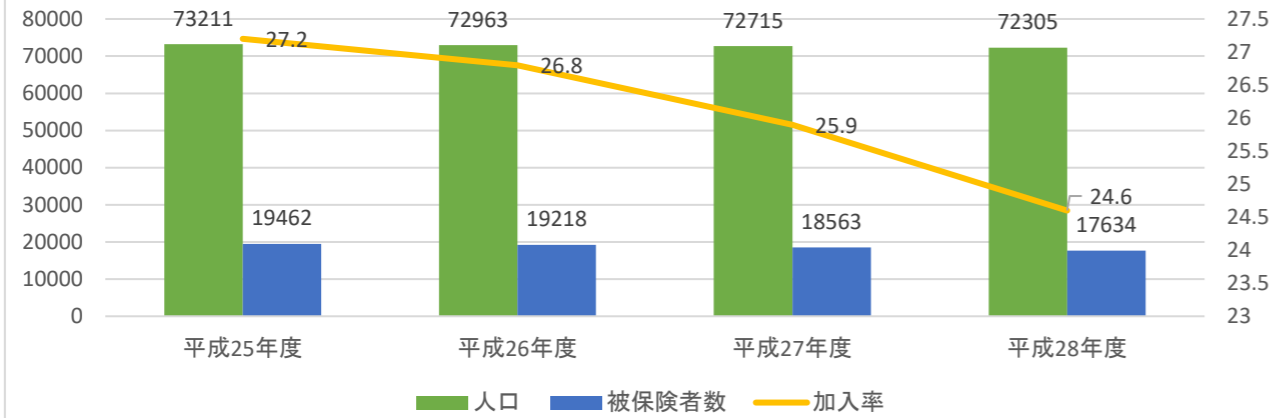
■目標

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成35年度国基準
特定健診受診率 (%)	55.1%	56.3%	57.4%	58.7%	59.8%	60.6%	60.0%以上
特定保健指導実施率 (%)	61.4%	61.9%	62.2%	62.5%	62.9%	63.5%	60.0%以上

【計画の公表・周知・評価等】

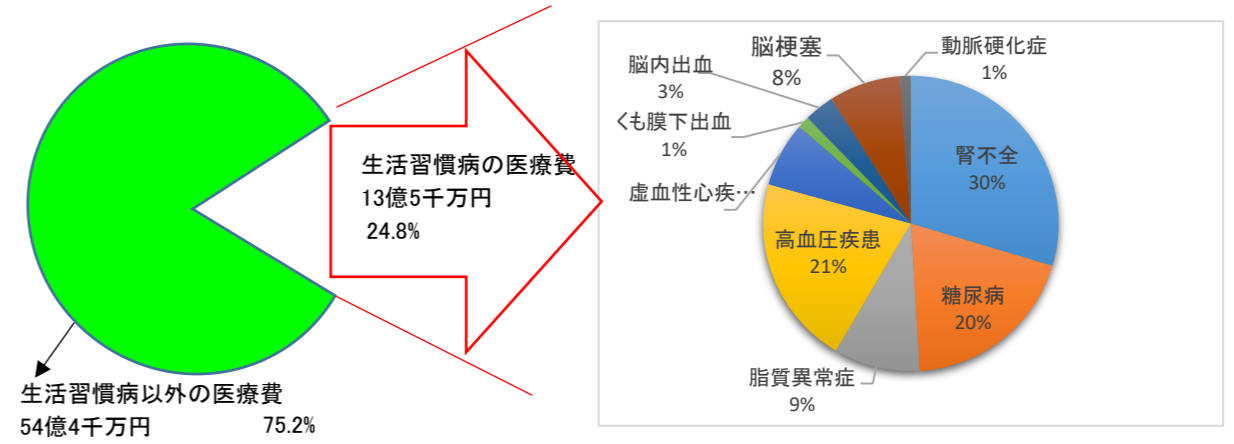
- *本計画は、広報及びホームページで公表するとともに、実施する保健事業の内容や趣旨等を被保険者に周知します。
- *実施する保健事業については、設定した目標指標に基づき毎年度評価し、効果の検証に取組み、必要に応じて計画内容の見直しを行います

【図表1】 人口と被保険者数の推移(各年度末現在)



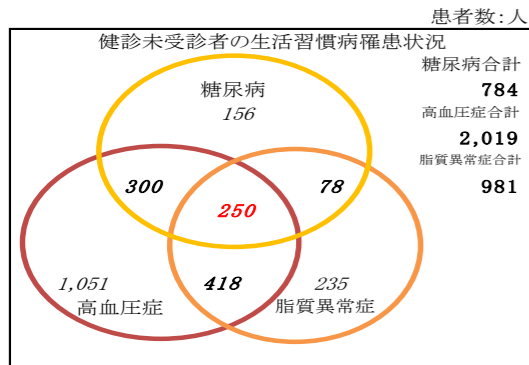
【図表4】 総医療費に占める生活習慣病医療費の割合と内訳(平成28年度)

■ 総医療費に占める生活習慣病医療費の割合と内訳(平成28年度)

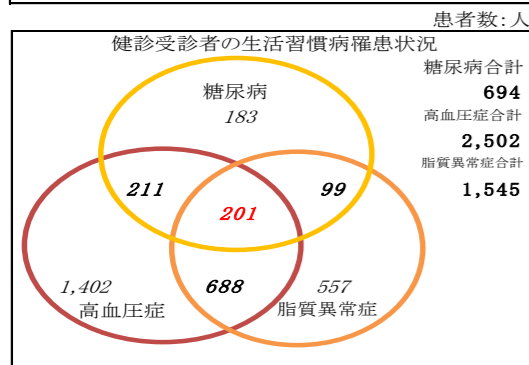


■ 生活習慣病の健康診査受診状況別罹患状況と医療費

【図表2】



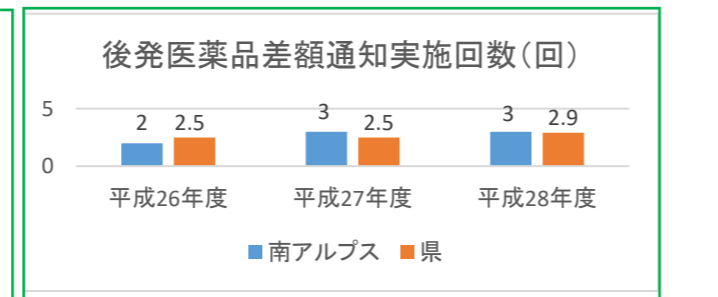
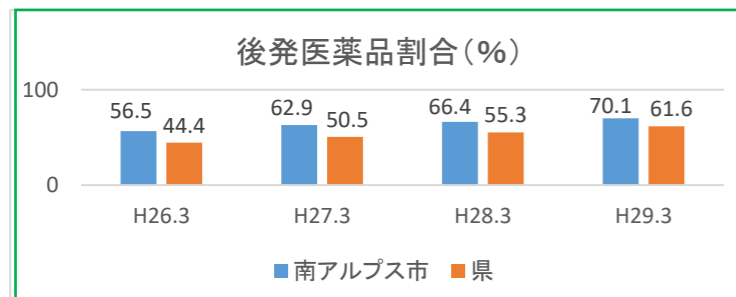
罹患状況 (投薬のある患者)	患者数(人) ※	医療費(円) ※		医療費合計 (円)	一人当たり 医療費(円)	
		入院	入院外			
3疾病併存患者	合計	250	115,876,170	146,342,920	262,219,090	1,048,876
2疾病併存患者	糖尿病・高血圧症	300	108,429,760	208,674,250	317,104,010	1,057,013
	糖尿病・脂質異常症	78	25,993,780	49,942,780	75,936,560	973,546
	高血圧症・脂質異常症	418	92,306,870	162,887,000	255,193,870	610,512
1疾病患者	合計	796	226,730,410	421,504,030	648,234,440	814,365
1疾病患者	糖尿病	156	39,867,900	64,743,920	104,611,820	670,589
	高血圧症	1,051	242,342,920	429,829,010	672,171,930	639,555
	脂質異常症	235	26,913,390	60,381,000	87,294,390	371,465
合計	1,442	309,124,210	554,953,930	864,078,140	599,222	



罹患状況 (投薬のある患者)	患者数(人) ※	医療費(円) ※		医療費合計 (円)	一人当たり 医療費(円)	
		入院	入院外			
3疾病併存患者	合計	201	24,573,580	87,830,810	112,404,390	559,226
2疾病併存患者	糖尿病・高血圧症	211	24,009,130	78,824,290	102,833,420	487,362
	糖尿病・脂質異常症	99	8,218,070	32,011,560	40,229,630	406,360
	高血圧症・脂質異常症	688	37,480,400	184,380,860	221,861,260	322,473
1疾病患者	合計	998	69,707,600	295,216,710	364,924,310	365,656
1疾病患者	糖尿病	183	9,005,540	53,288,480	62,294,020	340,404
	高血圧症	1,402	104,597,110	346,924,780	451,521,890	322,056
	脂質異常症	557	38,901,760	119,009,290	157,911,050	283,503
合計	2,142	152,504,410	519,222,550	671,726,960	313,598	

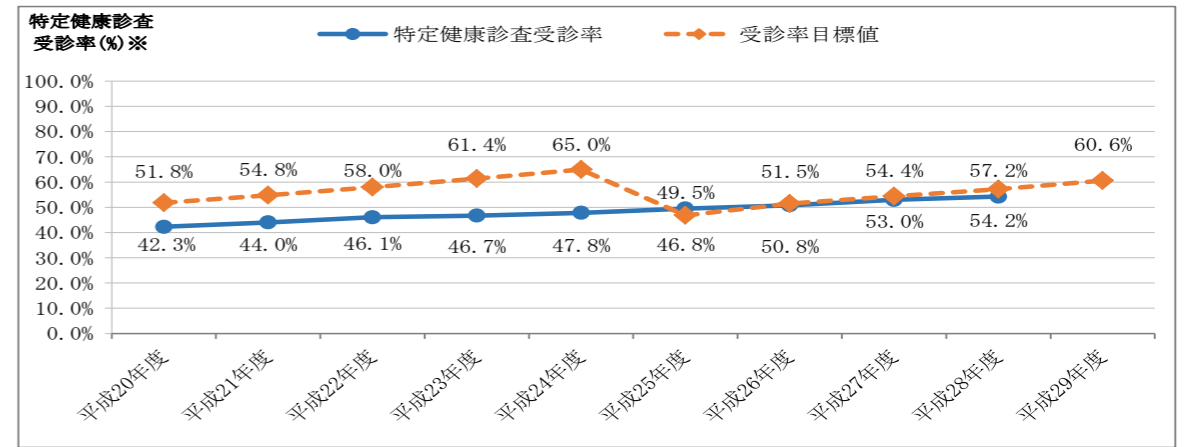
■ 後発医薬品(ジェネリック)普及率

【図表3】



■ 特定健康診査受診率及び目標値

【図表5】



■ 平成28年度 男女別・年齢階層別 特定健康診査受診状況の推移

